

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

**エントリー学校名：** 愛知教育大学附属特別支援学校

**活動名：** 地域への情報発信の推進 ～SWOT 分析で課題を共通認識して～

**解決すべき課題：**

- ・ 附属特別支援学校ということで、特別支援教育についてのセンター的機能として、各市町の一般校に対して特別支援教育について積極的に伝え、特別支援を要する子どもへの理解を広めていかなければならない。
- ・ 地域や一般校に向けて、本校の教育活動についての情報発信が、文書発送のみの受け身的で、本校の教育活動に対しての理解や協力が限定されている。積極的に本校から情報発信をすることが必要である。

**目標・方針：**

- ・ SWOT 分析を行い、職員全体で共通の課題および強みや弱み、目標を明確にすれば、地域や一般校のニーズを把握することができ、特別支援教育に関する教職員の資質・能力の向上につながるはずである。
- ・ 情報を発信するための環境整備をし、発信の機会を設ければ、地域や一般校に向けて本校の教育活動や特別支援教育についての情報発信を積極的に行い、理解と協力の輪が広がるはずである。

**活動内容：**

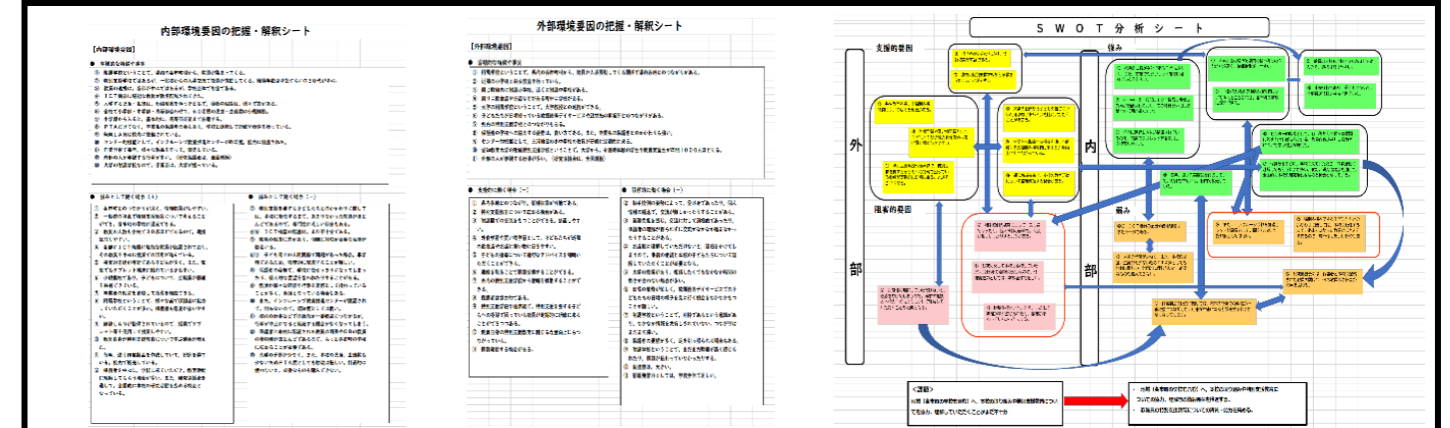
- ① 職員の意見をまとめ、SWOT 分析を行い、共通の課題および強みや弱みを明確にする。※資料 1
- ② 在宅勤務期間を利用し、特別支援教育に関する書籍、自立活動の教材開発、作成等を行い、ロイロノートアプリを用いて情報の共有化を図る。※資料 2
- ③ HP をリニューアルし、一般校の教員の研修の受け入れや支援ツールの情報、研究をまとめた DVD の作成について宣伝すること、臨時休校時の子どもたちに向けて動画配信を行う。※資料 3, 4
- ④ 作業製品を販売する場の提供を依頼したり、地域の店に本校の作業学習について説明したりする。

**活動の成果：**

- SWOT 分析により、共通の課題を明確にし、共通目的を職員がもつことができました。そして、本校の取り組みや強みを地域に積極的に情報発信することで、地域との連携や協力してもらえることにつながった。また、特別支援教育に関する知識の習得や情報の共有をする動きが、職員内で活発になった。
- HP での積極的な情報発信の機会を設けたことで、休校期間中だけでも、60 本の動画を作成し、配信を行うことができた。また、その動画を見た本校の子どもたちや保護者だけでなく、県内の小中学校の特別支援学級の教員、県外の特別支援学校の教員から、好感的な感想をいただいた。
- 近隣の飲食店に作業製品の販売スペースを設けさせていただき、売り上げが向上した。※写真 1
- 近隣の呉服店から、風呂敷の縁の縫製の仕事を委託され、作業班で行い、納品した。※写真 2
- 特別支援教育について、新型コロナウイルス感染症予防のため、研究協議会を開催することができない代わりに、研究の内容を DVD としてまとめ、地域だけでなく全国へ広めた。

**アピールポイント (アイデアや工夫)：**

- ・ ロイロノートで特別支援教育に関する書籍、資料などを紹介し合い、教職員間での情報の共有を図った。
- ・ HP での動画配信をし、特別支援教育や本校の教育活動について広めた。
- ・ 近隣の飲食店での作業製品の販売や近隣の呉服店からの仕事の委託を通して、本校の教育活動に対して地域に理解を広めた。



【教職員の意見をまとめた内部・外部環境要因と SWOT 分析シート】 (資料 1)



【ロイロノートを活用した特別支援教育に関わる書籍の紹介、教職員間の情報共有】 (資料 2)

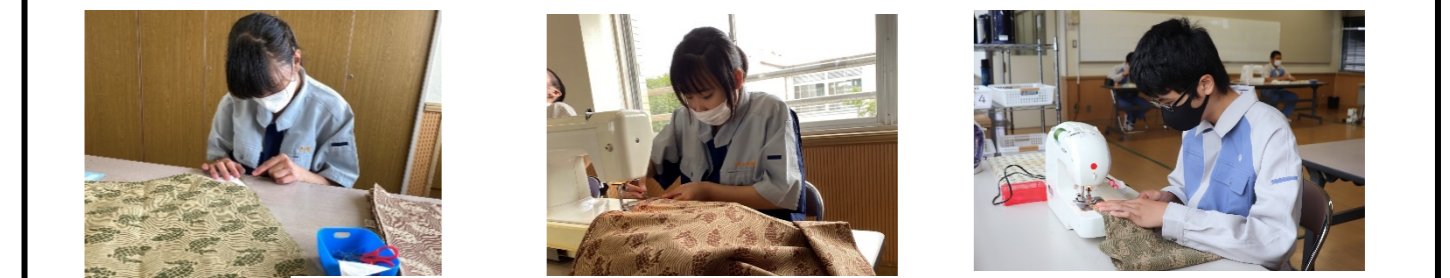


【HP での動画配信】 (資料 3)

【研究内容を納めた DVD (HP での CM 動画)】 (資料 4)



【近隣のレストランや喫茶店での本校の作業製品の販売スペース】 (写真 1)



【呉服店から請け負った風呂敷の縫製を作業班で実施】 (写真 2)